

第3回下川町総合計画審議会(快適環境・地域づくり部会) 会議録

日 時 令和3年11月20日(金)

18:40～19:10

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

《消防署》

出席者(委員): 山崎副部会長、川島委員、奥村委員、藤原委員、高松委員、野崎委員

出席者(町): 土本署長、伊東副署長、駒津救急係長、草浦庶務主任

事務事業名 救急業務高度化整備事業

町 : 内容説明

委員: 救急救命士生涯教育が新型コロナウイルスのため中止となり、令和2年度の決算額が令和元年と比べ減っているとのことだが、今年はどうなのか。

町 : 何件か中止になったが、ほとんど実施出来ている。

委員: 職員は何人いて、そのうち救急救命士は何人いるのか。

町 : 現在15人いるが、退職者がいるため、来年度は14人となる。5人が救急救命士である。その他に消防本部に出向している救急救命士が1人いる。暫くは新規採用予定が無い場合、資格が無い職員の中から令和7年度に養成したい。

委員: 理想とする救急救命士は何人なのか。

町 : 6人は必要である。現在、15人中12人が当直勤務に入っており、そのうちの半分が有資格者だと、休暇を取得しても必ず1人は当直勤務者に救急救命士がいる体制が取れる。

委員: 救急資器材の中で、未使用のまま廃棄しているものはあるのか。

町 : 使用期限があるものに関しては未使用のまま廃棄することがある。

委員: 廃棄する時は業者引き取りなのか、それとも消防で処分するのか。

町 : 無料で引き取ってもらえる物もあるが、殆どの消耗品については医療廃棄物として処分費用が掛かる。

公共施設名 消防庁舎

町：内容説明

委員：現在の消防庁舎は、車庫が狭く、署員にとって十分な大きさのある消防車が入れられないと聞いているが、次の消防車の更新はいつ頃予定なのか。

町：30年を目安に更新を計画しているが、これに当てはめると6年後に水槽車が該当するが、近年消防車の性能が良くなり30年での更新になった例は無い。

委員：令和2年度の消防庁舎に係る施設管理費の内訳を教えて欲しい。また、今年度の外壁修繕費も教えて欲しい。

町：約200万円が光熱水費で、その他約40万円が修繕費である。また、庁舎外壁修繕は、約240万円である。

公共施設名 第二分団詰所

町：内容説明

委員：現状維持となっているが、建て替えは今後検討していくのか。

町：かなり老朽化は進んでいるが、今直ぐ建て替えるのは現実的に厳しい。招集サイレンを鳴らす必要があるため、管理体制についても有人を維持し、現在の詰所を補修しながら暫くは使用していく方針である。

委員：一の橋地区の団員を招集するために、サイレンに代わる物はないのか。

町：現在、行政情報告知端末の屋外スピーカにて、消防署から電子サイレンを鳴らすことは可能だが、いつまで維持可能か不明である。他に電話で直接連絡することや、LINEなどのアプリを使う方法もサイレンと同様の効果が見込めれば可能かも知れない。

委員：サイレンは手動で鳴らす方法以外は無いか。

町：消防デジタル無線を導入する際に遠隔操作によって消防署から郊外のサイレンを鳴らす方法があったが、1,000万円単位の費用が掛かるため設置しなかった。

委員：先日、消防団員現地教育訓練にて第二分団詰所が危険区域に指定されていると指摘されたが、移転はやはり難しいのか。

町：指摘を受けたことは承知しているが、移転となると建て替える必要があり、現実的に難しい。

委員：第二分団詰所に収納しているものは、消防車1台の他に何があるのか。

町　：消防用ホースなどの火災出動で使用する資器材一式がある。

委員：第二分団単独で出動することはあるのか。

町　：消防署員が同時に出動するが、一の橋方面での災害は第二分団の方が早く現場に到着するため、一時的に単独で活動することはある。

第3回下川町総合計画審議会(快適環境・地域づくり部会) 会議録

日 時 令和3年11月20日(金)

19:15～20:10

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

《建設水道課》

出席者(委員): 山崎副部長、川島委員、奥村委員、藤原委員、高松委員、野崎委員

出席者(町): 平野課長、豊島主査、三宅主査、西本主査、磯部技師

公共施設名 桜ヶ丘公園センターハウス「フレペ」

町 : 内容説明

委員: 施設管理費について、令和元年度が94万円で、昨年度が197万8千円となっているが、内容を教えて欲しい。

町 : 「フレペ」の暖房配管が破損しており、漏れが発生したため、修繕した。

委員: 子どもがいるのでよく利用させてもらっているが、アスレチックがかなり消耗している。ロープで立ち入り禁止となっているところもあったが、少しずつ修繕していく予定か。

町 : あの遊具は特注のため、全てを取り替えるのは難しい。対処療法で壊れたところを直しながら長く使っていきたい。

委員: 音がきしんでいて、古い印象がある。

委員: 修繕が進んでいないということか。

委員: 修繕されていると思うが、1か所直したら別の遊具が修繕中になっているような状況である。

委員: 随時チェックはしているのか。

町 : 指定管理者がチェックをしながら運用している。小破修繕なら指定管理料の中で直しているが、大きな修繕に関しては指定管理者の報告を受けて、町で直している。

委員: 最近、小・中学生が遊ぶことが多くなってきたので、直せば皆使ってもらえると思う。現在あまり使用されていない遊具なら補修しなくても良いが、需要があると思う。

町：ターザンロープやブランコなどの遊具の利用は多い。安全に使えるよう管理していきたい。

委員：コロナ禍で利用する人が多いと聞く。利用者の声によって、トイレの開館時間の変更が実現されたのは良いことだと思う。今後も町民の声を聞きながら使いやすい場所にして欲しい。建物も新しい方なので、長く利用出来るようにして欲しい。また、利用者数の考え方について、建物の中を利用している人はカウントしているのか。

町：トイレを含め、館内を利用している延べ人数を数えている。

委員：誰が数えているのか。

町：「フレペ」の管理人が数えている。

委員：公園で遊んでいる人は数えているか。

町：数えていない。「フレペ」管内の利用者だけ数えている。

委員：今年はクイズ企画などで、万里長城を歩くことがあったが、石が崩れていたり、プレートの文字が見えない箇所もあった。観光協会でも石積みのプレートをやっていたこともあり、町と観光協会のどちらが修繕を行うのか分からない。かなり傷んでいるところもあるので、どういう方向で進めれば良いか。

町：プレートの企画は、観光協会が主体となってやっていただいたので、町で修繕する予定は無い。石積みの石については、毎年修繕を年次的に行っている。メモリアルゲートで、落石したら危険なところは重点的に行っている。ただ、無くなった石などの埋め合わせまでは考えていない。春と秋に、亀裂や倒れの酷いところを専門業者に計測してもらい、悪化していないかを確認をしている。当初よりは傾いているところはあるものの、現在は小康状態を保っている。

委員：石で気になるところがあれば報告をし、プレートの修繕については観光協会で費用を持って、町に確認するという形で良いか。

町：そのようにしていただきたい。

委員：敷地内にバラが植えられているが、これの管理も施設管理に含まれるのか。

町：施設管理の中で行っている。

公共施設名 錦町公衆トイレ

町：内容説明

委員：かつては街中のイベント時に利用されていたが、現在、一定の役割を終えたと考えられる。以前も廃止の意見があり、利用者の意見を聞きながら決めるとのことで、今まで来ているが、年間の維持費が100万円掛かっていて、このまま続けていけば10年で1,000万円掛かる。そこまで経費を掛けて維持すべき施設なのかと思う。除雪作業の人達が、早朝に使うトイレが無いから設置しているということも聞いた。まちおこしセンター「コモレビ」など、代替の施設では対応出来ないかという話になった時に、「コモレビ」は、金融機関が入っているので防犯上良くないという話になったと聞いた。もし、どうしてもトイレを使いたいというのであれば、バスターミナルやバス停のトイレを24時間空けておくことは出来ないのか。

町：廃止ということで進めていたが、議会などから街中で、24時間使えるトイレが必要という意見が出た。日中であればバス停のトイレはある。除雪作業者のことについては、使うこともあるかもしれないが、除雪のためのトイレということはない。商店街にあるトイレは必要という声があるので保留状態になっている。バス停や「コモレビ」などの利用が出来るのであればというところではある。ただ、私の記憶では、バス停のトイレについては、民間の住宅に接続している場所なので、保安上、住人の方が懸念されるというのを聞いたことがある。

委員：夜に人があまり出歩かない状況で、飲食店なら店の中にもトイレがあるだろうし、本当に利用しているのはどれくらいいるのか、もう一度考えてもらって、今すぐ廃止ではなくても良いので、毎年、議論をしてもらいたい。

町：利用者数を水道使用量から出そうとしたことはあったが、大小の区別があるので難しかった。

委員：推定で良いから出せないか。

町：メーカーで1回当たりの使用量が出ていて、令和2年度の計算では、1日平均10人が使用している。

委員：施設が無くても良い人数だと思う。

町：令和2年度は利用人数が減っており、平成27年度は1日平均26人となっている。

委員：10人利用者がいても代わりの施設があれば良いし、日中であれば、バスターミナルや公民館も使える。夜に頻繁に利用している人がいるとは思えない。単年度で

100万円でも積み重なっていくと大きな数字になる。

町：内訳としては除雪費で約30万円、1日2回の清掃の委託をしており、年間で約50万円、その他、光熱費など合わせて約100万円となっている。

町：除雪費については、駐車場全体の除雪である。

委員：駐車場は、隣のホームセンターが開店したら専用駐車場になるのか。

町：町の駐車場なので、専用駐車場にはならない。

公共施設名 公営住宅、町営住宅

町：内容説明

委員：公営住宅の人件費はどういうものか。

町：職員の給与などである。

委員：町営住宅には入らないのか。

町：定数外の会計年度任用職員がおり、その職員の人件費を公営住宅に入れている。

委員：公営住宅に係る業務をしているのか。

町：例えば、水道業務を担う職員の給料などは、水道使用料などで支払っている。町営住宅は収入が少ないということもあるが、もともと町営住宅は、目的ごとに各課で管理していたが、数年前に建設水道課で一括して管理するようになった。その時の判断にもよるが、公営住宅で人件費を出している。

委員：上名寄の町営住宅を除却しなければならないとあったが、壊さなければならないがまだ残っている住宅は何戸くらいあるのか。

町：公営住宅に関しては、3年から4年で18戸の除却をする予定である。その中で、壊すだけではなく、建て替える住宅もあるが、上名寄団地に関しては、壊して用途廃止の計画となっている。町営住宅に関しては、3年から4年で8戸壊す予定になっている。公営住宅と同様に、壊すものもあれば、建て替えを計画しているものもある。

委員：現在も住んでいる住宅はあるのか。

町：住んでいる住宅もあるが、住んでいない住宅もある。住んでいる住宅に関しては、壊す予定の2、3年前から個別でお話をして、望まれる住宅に入れるように入居募集の際に毎回提示させてもらっている。来年度、除却予定の元町団地で、今年度3件の方に退去していただいたが、それぞれの希望を聞いて、空いている住宅を提示

して、気に入ったところに入ってもらっている。

町：いずれも古い住宅で家賃が低廉になっているので、古くても良いから住みたいという方が多く、一の橋の住宅などでは、静かな環境が良いという方もいる。

委員：一の橋の住宅も入居されている方がいるのか。

町：4棟16戸の団地で、1棟に1戸ずつ入居している。まとめたいが、老朽化がひどく、床が駄目になり住めない住宅もある。現在、入居している場所がまだ状態が良いというだけである。

委員：それでもそこに住みたいということか。

町：そうだと思う。一の橋あかつき団地も予定では令和6年度に壊す予定になっているので、来年度辺りから訪問して、引っ越し先を考えていくことになる。

委員：家賃のこともあるだろうし、判断が難しい。

町：ただ、その入居者の方々は、以前から壊すことは把握されている。これから市街地に移るか、一の橋集住化住宅に入るかなどの話を進めていく。

委員：教員住宅は、現在も教員住宅として使っているのか。教員住宅だったところを一般の町民が使っているのか。

町：教員住宅だった住宅も現在は建設水道課に管理が移り、条例上は町営住宅となっているので、一般の方も入居可能である。

委員：現在、教員が入っている住宅も町営住宅になるのか。

町：町営住宅である。

委員：新しい町営住宅もあったと思う。それも同じ町営住宅という括りか。

町：そうなる。

委員：移住される方が多い中で、公営住宅や町営住宅に入ろうとすると、入れないということがある。

町：タウンプロモーション推進部と連携していて、事前に相談されるので、全てを叶えられる訳ではないが、住宅の情報を提示して、収入を教えてもらい、入れるかどうかを判断している。町営住宅が空いていれば入ってもらえるなども考えている。最近住宅の空きが少なく、協力出来ないこともあるが、せっかく来てもらえるので、タウンプロモーション推進部と協力しながら、なるべく入ってもらえるように努力している。

委員：以前から聞くのが、テレビアンテナとネットの環境が無いので、かなり出費しない

とならないと聞く。掛かるのは仕方がないが、事前に分かっていたら良かったと思う。その部分もタウンプロモーション推進部と連携していただけるとありがたい。

町：末広団地より以前の建物は、テレビアンテナを入居者自身で付けなければならない、向陽団地以前より以前の建物までは、灯油タンクを自身で付けなければならない。建設した年代によって異なる。平成10年以前は、全て自身で準備することになっている。

委員：灯油タンクは引越したら持っていくのか。

町：大抵の人は置いていく。テレビアンテナを持っていく人もあまりいない。次の入居者が使わないということであれば、町で回収しておく。

委員：公営住宅の自宅に入居した時から、BSアンテナが付いているが、NHKが来て、アンテナがあるから「BS受信料を払いなさい」と言われる。この場合、どうしたら良いか。

町：新設の元町団地に関しては、BSの配線をしているか、NHK職員が確認出来るようにしている。

委員：元町あけぼの団地も同じなのか。

町：元町あけぼの団地に関しては、そのようにはなっていない。

委員：テレビアンテナの撤去費用は、入居者が負担しなければならないのか。

委員：配線を切れば良いのではないか。

委員：住宅によって違うのを感じた。

町：当時の公営住宅の設備がどこまで認められていたかによる。古い公営住宅では、風呂は入居者が付けるということもある。

町：現在でも、旭町団地と中成みずほ団地は、風呂を自身で付けることになっている。

委員：ネット回線は、行政情報告知端末があるから通っているのではないか。

町：ネット回線とは別である。

委員：光回線を繋ぐのは、前の入居者が利用していたら付けやすく、利用していなかったら回線工事費が掛かる。町で把握するのは難しいとは思いますが、住んで直ぐにテレビやインターネットが使えないという声もある。

町：公営住宅は基本的にネットを引かないので、自身で付けてもらう必要がある。前の方が残していれば、プロバイダーに連絡すれば繋げてもらえると思う。

町：比較的最近の公営住宅は、インターネットの工事ができるように配線しやすい準備だけは建設工事でしている。

町：古い公営住宅だとそれもない。インターネットを開通させるのは問題ない。最近だと暑くなってきているのでエアコンを設置する人も増えている。

委員：タウンプロモーション推進部との連携も良いが、空き家の事業とも連携したら良い。

委員：現在、タウンプロモーション推進部で連携がされている。

町：公営住宅専用のウェブサイトがあり、公営住宅の全ての部屋を掲載している。

委員：将来の人口推計に合わせた無駄のない整備をして欲しい。

町：過去には、公営住宅が空いているという問題があったが、現在は住宅が少ないという課題があるので、時代によって変化していく。公営住宅数は、他市町村よりも人口の割に多い。公営住宅は町の財産なので、将来を見据えながら住宅の必要数を計画し、それに合わせて整備したい。計画がずれることもあるが、それも加味しながら進めていきたい。

委員：公営住宅の除雪について、除雪をしている住戸としていない住戸があり、道路側の住戸の人が除雪をしないとすると、自分の家の前に除雪業者が入れなくなる。今、隣が空いているが、建設水道課に言えば、入居時に除雪を頼むように説明してもらえるのか。

町：建設水道課でもその棟の除雪のルールが分からないので、入居する際には、ご近所の方に聞きながら進めてくださいと説明しているが、こちらで強制は出来ない。

町：住む方が変われば、除雪の考え方も変わるので非常に難しい。